

# 2019年度 認知神経リハビリテーション・ベーシックコース/プログラム (高知)

1日目

[脳のリハビリテーション]

09:20- 認知の樹 (映像)

09:30-10:30 講義1) 行為と認知の神経科学 (八坂一彦)

- ① 脳の知覚運動制御メカニズム
- ② 運動の意図・予測・イメージ
- ③ 運動学習、身体意識、多感覚統合

10:40-11:40 講義2) 片麻痺の病態と機能回復の神経学 (菊地豊)

- ① 痙性麻痺と錐体路
- ② 機能解離と半球間抑制
- ③ 片麻痺の機能回復と神経可塑性

[認知神経リハビリテーション入門]

11:50-12:50 講義3) 認知神経理論 (小川昌)

- ① 情報の受容表面としての身体と環境の相互作用
- ② 認知問題 (問題-知覚仮説-解答)
- ③ 発達と物理的・心理的道具

昼休み

13:50-14:50 講義4) 行為の機能システムと情報メカニズム (宮本省三)

- ① 身体を情報の受容表面と捉える
- ② 行為・機能・情報のヒエラルキー
- ③ 機能回復のための情報の構築

15:00-16:30 演習1) 病態分析と病態解釈 (明神茉倫子・全講師/グループディスカッション)

- ① 脳画像検査や手術所見などから得られる情報から数量化、視覚化可能な検査チャートによる評価まで
- ② 外部観察・・・姿勢と動作の特徴 (自発的・規定動作)、神経学的病理、特異的な運動の異常要素、行為システム
- ③ 内部観察・・・認知過程の変質、意識経験の変質、観察のためのプロフィール、一人称言語記述、意識の志向性

16:40-18:10 演習2) 認知問題と訓練の組織化 (八坂一彦・全講師/グループディスカッション)

- ① 身体部位、訓練段階、感覚モダリティ
- ② 空間問題と接触問題
- ③ テーマ(身体部位)、内容・方法・検証

## 2日目

### [認知神経リハビリテーションの実際]

09:20-12:20 演習3) 行為の機能システムと認知神経リハビリテーション

- ① 行為システムと訓練器具の関係
- ② 難易度の調整
- ③ 基本的手続きと実技

[Ⅰ] 上肢の機能システムと訓練の実際 (全講師/グループディスカッション)

[Ⅱ] 体幹の機能システムと訓練の実際 (全講師/グループディスカッション)

[Ⅲ] 下肢の機能システムと訓練の実際 (全講師/グループディスカッション)

### 昼休み

### [脳のなかの訓練室]

13:10-14:00 講義5) 高次脳機能障害の病態解釈と回復の探求 (明神茉倫子)

- ① 「行為のトランスフォーメーション(変換)」としてみた左半球障害の特徴と病態
- ② 「行為のスペース・インテグレーション(空間統合)」としてみた右半球障害の特徴と病態
- ③ 右半球障害(半側空間無視)と左半球障害(失行症)の治療

14:05-14:55 講義6) 神経変性疾患の病態解釈と回復の探求 (菊地豊)

- ① 脳のシステム障害としてみた小脳障害と大脳基底核障害
- ② 陽性症候と陰性症候に大別した介入方略の方向性の相違
- ③ 神経変性疾患に対する病態推定と治療仮説

15:00-15:50 講義7) 運動器疾患の病態解釈と回復の探求 (小川昌)

- ① 情報器官としての運動器と予測機構の破綻に基づく運動の異常
- ② 神経因性疼痛における知覚情報の不整合性とネガティブな可塑的变化
- ③ 運動器疾患に対する認知神経リハビリテーションの実際

### [身体化された認知]

16:00-16:30 講義8) 身体化された認知 (embodied cognition) の回復を目指して (宮本省三)

- ① リハビリテーション身体論 ～フッサール、メルロ・ポンティ、ギブソン、ギャラガー、エーデルマン、ヴァレラ…
- ② 身体・物語・人生とロマンティック・サイエンス ～ルリア、サックス、ペルフェッティ…
- ③ 行為の記憶と想起された現在 ～認知運動療法から行為間比較への旅…

16:30- 認知の樹(映像)

終了\_